

# 坂の上通信

平成二十九年三月十三日  
広島市立美鈴が丘高等学校  
新聞文化部(四〇三演習室)

# 第27回卒業式 挙行

## 卒業生274名が巣立つ

3月1日水曜日、第27回卒業式が行われた。立派な式を挙げるため、直前まで昼休憩などを代表者の練習が行われていた。当日は、厳粛な中にも暖かな雰囲気で行われた。



第27回卒業式の様子。講堂のほぼ全席が埋まった。

美高では、毎年卒業生が記念品として様々な備品を学校へ贈っている。今年の卒業記念品として、進路指導室の横の自習室に新しい机がいくつか入った。どうして机を選んだのか、学年主任の浅枝先生に話を聞いた。



記念品の新しい机

また、卒業生と来年度受験生になる2年生へのメッセージもあわせて聞いた。

「卒業生には『人生七転び八起き』という言葉覚えておいて欲しい。上手くいかないことがあっても、立ち上がって前に進んで欲しい。人生には必ず失敗がある。失敗したあと

先生の机の上にあるちょっとしたものを紹介するこのコーナー。今回は、英語科の横山先生の机におじゃました。

## 机の上の美術館

写真、ちびまる子ちゃんやアンパンマン、ハム太郎など、絵も文字も様々なスタンプだ。写真はごく一部のものです。実際にはこれ以外にもたくさんあります。



種類豊富なスタンプ

その思いに込められたものにも、日々勉強に励みたいものだ。

## 美高HP一新 部活動紹介が詳細に

現在、美高のホームページ(HP)は化学の沖本先生が中心となって日々更新されている。3月初旬より、部活動関係のページが大幅にリニューアルされる。

その経緯について、沖本先生に取材した。

HPを見たときには、感想やこうした方がいいという意見を言ってもらえるとありがたいです。みんなで作るHPになればいいと思っています。

## 学校の「顔」にインタビュー



今回は家庭科の踏江先生にインタビューを行った。

「どんな高校生でしたか？」

「通っていた高校はいわゆる進学校で、授業は0限から7限まであり、放課後は図書室などで毎日勉強していました。」

「家庭科の先生になろうと思った理由は？」

「もともと数学が好きだったので、数学の先生になりたいと思っていました。ですがセンター試験が不合格だったので、家庭科に進みました。」

「踏江和子先生」  
誕生日：11月4日  
趣味：旅行、買い物  
血液型：A型

「試験が終わって、家庭科に出願しました。後悔はしていません。美高生に一言、控えめだから、もう少し図々しく、自分のやりたいことを追求してほしいと思います。」

「HP更新作業中の沖本先生」



HP更新作業中の沖本先生

## 新入部員募集

「坂の上通信」の今年度発行は、今号で最後になります。一年間で愛読者がとうございりました。次号は勧誘号、第50号は部活動紹介号です。



練習に励むラグビー部(イメージ)

## 雌伏の時③

オフシーズンの運動部の活動を紹介します。今回はラグビー部にインタビューを行った。

「特別卒業」というものもあるらしい。中途退学した学生に対し、各校の規定により後から卒業を認める制度だ。2004年に、明治大学がこの制度でビートたけしに特別卒業認定証を授与した。また、

## 美・鈴・鈴・鈴

1日に美高でも卒業式があり、三年生は無事旅立っていった。今後のそれぞれの活躍を祈りたい。一口に卒業と言っても色々な意味をもつ。まずは今回と同じ「学校を去る」という意味の卒業。普通は単位の取得や出席日数が条件となるが、

## 編集後記

今年度も、ついに卒業式を迎えました。別れの時は涙だけでなく笑顔で迎えられるといいですね。